

# 2年生・進路講話

進路指導課

11月22日(木)7限・LHRの時間に「2年生進路講話」を行いました。鳥取大学入学キャリアセンターの山田貴光先生にお越しいただき、「地方国公立大学の魅力」というテーマでお話いただきました。

金銭面・生活・教育・研究・入試といった観点から話していただき、これから進学先を具体的に考えていかなければならない生徒にとって、良い機会となりました。



## 【生徒の感想より(抜粋)】

・国公立は学費が安い上に、地方の大学だと生活費も安く安価におさまる。親の負担を考えると、国公立にぜひとも行きたいと思いました。また、一人暮らしをすることで親のありがたみや、自立、人間関係形成など社会人になってから必要な能力が培われるので、とても魅力があると思いました。私は理系なので、どこをとっても国公立に行くべきだなと思いました。地方の国公立についてももう少し考えてみようと思いました。

・家から通える私立大学に行くのと、他県の国公立大学に行くのが同じくらいのお金だと聞いたときは、家から通える方がいいと思ったけど、国公立の方が、生徒の人数が少なく、自分の学びたい・研究したいことがよりしっかりできると知って、これからはもっと地方の大学にも目を向けて、知名度で選ぶのではなく、自分でたくさん調べて、自分が行きたいと思う大学を考えたい。

・私は自宅から通える範囲でしか考えていなかったけど、一人暮らしをすると大学に近いので、通学にかかる時間や交通費を減らすことができるということが分かりました。南高からも地方の国公立大学に行っている人が思ったよりたくさんいて、少し身近に感じることができました。